



《家族像》紙・コンテ、1956年

宮本三郎の家族像

2013年8月10日 土 ~ 11月4日 月・休

開館時間 >>> 10:00 ~ 18:00 (最終入館は17:30まで) 休館日 >>> 毎週月曜日 (ただし祝・休日と重なった場合は開館、翌日休館) 観覧料 >>> 一般 200円 (160円)、大高生 150円 (120円)、65歳以上 / 中小生 100円 (80円) ※障害者の方は100円 (80円)。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者 (当該障害者1名につき、1名に限る) は無料。※ () 内は20名以上の団体料金。※小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間中は無料。

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL 03-5483-3836 www.miyamotosaburo-annex.jp/

交通案内 ●東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分 ●東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分 ●東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分



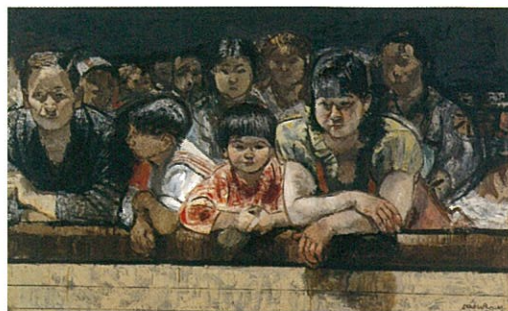
当館が建つこの場所には、かつて洋画家・宮本三郎（1905-1974）のアトリエ兼住居がありました。友人の建築家・岡田哲郎が設計した、鉄筋2階建てのモダンな建築。宮本三郎にとってその家は、創造の現場であった一方で、家族との大切な時間を過ごす、憩いの場でもありました。周囲からも、大変仲がいいと評判だった宮本一家。このたびの展覧会では、宮本三郎にとっての「Home, Sweet Home」（楽しい我が家）に思いを馳せて、作品をご紹介します。

宮本三郎が完成した新居に移り住んだのは、1935年7月のこと。1928年3月に結婚し、翌年長女をさすかった

宮本三郎の家族像

宮本三郎は、ヨーロッパ遊学や石川県小松市に疎開した一時期をのぞき、亡くなるまでその家に家族とともに住み、アトリエで制作を重ねました。制作と生活の空間はわかれながらも、それらはときにゆるやかにまざり合い、宮本三郎は夫人や愛娘をモデルにした作品を描いています。戦前、ルーヴル美術館で模写したレンブラントの《聖家族》や、戦時中から構想された《死の家族》、戦後初孫の誕生をきっかけに制作された油彩画のための素描等をご覧いただければ、宮本三郎が家族という主題にいかに関心を寄せていたかがわかります。そこには宮本三郎の、日々家族との生活の中で深まるまなざしの投影があるようです。

本展では、宮本三郎が家族を描いた作品、そして仕事に疲れると近所の生花店をめぐり、買い入れていたという花をモチーフとした作品を展示することで、宮本三郎の「家」から思い起こされるさまざまなイメージを展覧します。加えて、宮本三郎旧邸に関する資料もパネルや書籍で紹介いたします。



- ①《家族席》1934年
- ②《死の家族》1950年
- ③《聖家族（レンブラント模写）》1939年
- ④《（鏡の前の婦人像）》1945～48年頃
- ⑤《Fleur（ブルーバック）》1967～71年頃



夏オープンワークショップのお知らせ

きみがそだてる家 かいてみよう+はてみよう

宮本三郎旧邸のモノクロ写真を素材にして、その家を水彩絵具やコラージュでいろいろとります。写真を素材に絵を描く、コラージュする面白さに触れながら、かつてここにあった画家の家に思いを馳せてみませんか？

講師 ● 井上光太郎（画家、1982年鳥取県生まれ）
日時 ● 2013年8月14日（水）～18日（日）
13:00～17:00（受付は16:30まで）
参加費 ● 100円

※どなたさまも、事前のお申込やご用意は不要です。時間中、直接美術館にお越しください。

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL 03-5483-3836
www.miyamotosaburo-annex.jp

交通案内 東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分
東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分
東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL 03-3415-6011
(代) ハローダイヤル 03-5777-8600
www.setagayaartmuseum.or.jp/
※詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催企画展

- 榮久庵憲司とGKの世界 風が強く 7月6日（土）～9月1日（日）
- アンリ・ルソーから始まる 9月14日（土）～11月10日（日）
素朴派とアウトサイダーの世界

同時開催

ミュージアム コレクション

- 柚木沙弥郎 いのちの旗じるし 5月2日（木）～8月18日（日）
- 気になる、こんどの収蔵品 8月29日（木）～2014年1月13日（月・祝）



世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL 03-5450-9581 www.mukaijunichi-annex.jp/
向井潤吉と四季 秋 8月10日（土）～12月1日（日）

©宮本和義



世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL 03-3416-1202 www.kiyokawataiji-annex.jp/
清川泰次の世界Ⅱ 帰国、そして再びアメリカへ 8月10日（土）～12月1日（日）

©宮本和義